

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 あうりんこ谷山		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職員(言語聴覚士、作業療法士)保育士が常勤しており専門的な意見を出し合っ、情報共有し支援プログラムを作成している。	支援後は、必ず振り返りを行い、課題・解決策の意見を出し合っている。 支援記録、支援メモを活用し次回の支援者が継続した支援が行えるよう情報共有を行っている。	支援の質の向上に努める為に研修、講習会への参加を継続し、周知研修の機会を増やしていく。
2	運動活動(スパイダー、ボルダリング、サーキット、バランスボール等)、机上活動等多様な支援を組み合わせ活動が固定化しないよう努めている。	こどものニーズ、課題に合わせた活動プログラムを作成し、専門的な視点を支援に取り入れている。	様々な活動内容の情報収集を行い、活動プログラムへ取り入れこどもの発達に合わせた支援が行えるよう努める。
3	保育所等訪問支援事業を行っており、保護者、園と情報共有し統一した支援に努めている。	園での困りなど情報を職員間で共有し、ニーズ、課題に合わせた支援を迅速に取り入れ、評価した事を保護者、園へ報告など行っており、継続した支援を行っている。	園など集団生活で継続した支援が行えるよう情報収集を引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HP・SNSを活用し行事・活動状況の発信が必要か検討	現状は、保護者へ日々の支援後振り返り、連絡帳の活用、電話などでの報告を行っている。 SNS等活用する際の個人情報の取扱いに対して、統一した情報共有が必要。	保護者の意向など踏まえ必要に応じて、SNSの活用を検討する。
2	保護者会・きょうだい同士での交流する機会がない。	個別活動の時間帯は保護者・きょうだいの来所体制は整っており、時折活動への参加するなど場面はあるが、交流の時間を設けてない為、今後検討する。 以前は、夏祭りの行事で保護者・きょうだいの参加を促していたが、コロナ渦の期間などでそれ以降行事参加の機会がない。	就学に向けての情報交換会、日々の子育ての悩みなど保護者の意向、行事を通してきょうだい同士の交流、行事参加など今後、検討する。
3	地域住民、地域の中で他のこどもとの交流機会がない。	地域の交流機会が少ない。 戸外活動を通して、地域施設への利用などは行っている。	地域の行事への参加など今後、検討する。